

参議院選挙区選出選挙公報

北海道選挙管理委員会



北海道の未来を拓く

5つの基本政策

1. 地域産業創造力を強化、世界へ発信

- ▶ 本道の食・観光を世界に展開し、地域経済の活性化につなげます
- ▶ 農林水産業の就業者の意欲を高め、産業力の強化を図ります
- ▶ 中小企業や小規模事業者の事業展開を支援します

2. 医療・福祉・雇用を確保、女性活躍の場の拡大

- ▶ 医療・介護・福祉を充実し、いつまでも安心できる暮らしを守ります
- ▶ 女性が活躍できる環境の充実を図ります

（プロフィール）
昭和29年1月6日生まれ。O型
昭和51年 一橋大学経済学部卒業。函館市入省
昭和52年 大西山田国際研究所(リバリー)研究員
平成12年 北海道経済産業局長
平成15年 北海道知事に初当選から4期務る
現在、自由民主党北海道参議院選挙区第5支部長、北海道大学客員教授。



3. 地域に人を呼び込み豊かさと活力に満ちた地域を実現

- ▶ 地域の経済・暮らしの発展・充実を図り、地方への人の流れを創ります
- ▶ 外国人材の受入れと共生を推進し、地域の新たな活力を生み出します
- ▶ アイヌ文化など文化資産やジオパーク、忍竜など世界に誇れる地域資源を発信します

4. 社会インフラの充実、安全で便利な北海道を実現

- ▶ 脱振東部地震災害の一日常早い復興を進めます
- ▶ 経済と暮らしに不可欠なエネルギーの安定供給を図ります
- ▶ 今後の発展を支える社会インフラの整備を進めます

5. すべての道民の悲願 北方領土問題解決を推進

- ▶ 経験とネットワークを生かし領土問題の解決に全力を注ぎます

大好きな北海道のために全力を尽くします！
今年の4月まで4期16年間、北海道知事として情熱と使命感を持って道政に取り組んで参りました。
北海道がこれから先、子ども達の時代まで豊かな発展を続けていく為に、
私はこの広大な北海道をすみずみまで走り、誰よりも北海道のことを考え、汁をかけてきた知事時代の情熱をそのままに、参議院という新たなステージで、これまで培った経験とネットワークを活かし、北海道が直面する課題の解決に力を尽くしてまいります。



自民党公認

高橋はるみ

比例代表も自民党の候補者へ

「安楽死 ひとつの選択肢 制度に反対ですか」

賛成の方は 選挙区は 安楽会 公認 中村 治へ



安楽死制度を考える会を

公認 中村 治



- 自分の最後は自分で決めたい
- 制度を使いたくない人は使わなければよい

- 耐え難い痛みや辛い思いをしてまで延命したくない
- 家族などに世話や迷惑をかけたくない

- 人生の選択肢の一つとしてあると「お守り」のように安心

Consideration the Euthanasia System
安楽死制度を考える会

賛成の方は 比例代表は 安楽会 「略称」とお書きください

来年からインターネットでもNHKが視聴できるように国会で決定しました。

このままでは「テレビがない」「NHKをみてない」でも支払いの義務が発生します!!!!



山本貴平 N.H.K.から国民を守る党

NHKから国民を守る党

NHKをぶつ壊す！



参議院選挙区選出選挙公報

北海道選挙管理委員会

森山よしのりの 未来ビジョン。

①減税による経済成長!

消費増税は、GDPの約6割を占める個人消費を冷え込ませ、景気悪化やトータルでの税収減を引き起しかねません。消費税10%への再増税の即刻中止はもちろん、5%への引き下げを断行すべきです。その上で、日本企業の国内回帰を促します。

②防災大国の実現!

泊原発を再稼働させて冬期の停電による危険から守ります。豪雪や台風、地震に対する防災の強化にむけた未来投資を進めます。

③未来産業推進!

徹底的な規制緩和や減税の実施。新たな基幹産業創出に向けた大胆な投資により、経済を活性化させ、北海道を未来産業の基地にします。

④自分の国は自分で守る!

ロシアと平和条約を締結し、日米安保条約と共に存させ、中国の急激な軍備拡張に対する抑止力を強化して、この国を守ります。他国と協力して人権擁護から世界の人々を守る責務を果たします。

**森山よしのり
プロフィール**
●1966年生まれ ●学歴:中央大学法学院
●経歴:新日本製鐵(株)、(株)幸福の科学 北海道各支部長歴任

森山よしのり公式ブログ
<http://moriyama-yoshinori-hrp.blogspot.jp/>

比例は

こうふく

「幸福」

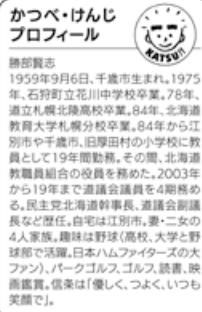
とお書きください



こうふくじゅげんとう
幸福実現党



幸福実現党

<http://hr-party.jp/>

すべての人が生きやすい社会に向かって

暮らしからはじまる経済成長

勝部けんじ(5つの政策)

- ①女性も若者も安心して働く**
憲法9条の改憲や選択改革には明確に反対し、基本的人権の尊重平和主義の立場で、男女共同参画の原則を徹底して守ります。
- ②共に生き、支え合う社会へ**
高齢者が安心して働き、長時間労働を是正し賃金を引き上げ、職業訓練プログラムを充実して、安心して働ける雇用・労働環境を整備します。
- ③地域に生きる基盤をつくる**
農林水産業の持続的経営に向けて、農業者同士の連携が保障され、一人ひとりの多様性を認め合い、基本的人権が尊重される社会へと生きる社会へとつなげます。
- ④豊かな自然エネルギーを活かし原発ゼロへ**
未来に対する責任として原発ゼロを実現します。自立分散型の自然エネルギーを普及させ、地域の雇用創出と経済活性化につなげます。
- ⑤憲法を活かし平和を守る**
憲法9条の改憲や選択改革には明確に反対し、基本的人権の尊重平和主義の立場で、男女共同参画の原則を徹底して守ります。

原点は教え子たち
私は北海道議会議員になるまで、小学校の教員をしていました。夢中になつて授業をして、真っ黒に日焼けしながら、一緒に遊んでいた子どもたちと一緒に合った19年間は、私にとってかけがえのない時間でした。しかし、やがて社会へ出立つてかかる教えた子どもたちに、「本人の努力だけではどうにもできない社会の壁」に行き手をはばまれる者が少なくないことに気がつきました。そこで、私が政治家を目指すことを決意しました。子どもたちは立ちはだかる壁を取り除き、手を差し伸べる社会を手渡したい。そのため社会のあり方を一つひとつ良くしていくため、私は私が政歩道を歩き始めた原点です。
政権の横暴、理不尽な制度、平和をしないがしろにする政治には、強く、明日が不安な人、孤立した人、支えを必要とする人、誰かを支える人、子育てに奔走する人、そして子どもは、やさしく、強く、やさしく。私の言葉を胸に、これからも政治に取り組んでいます。

私たちも勝部さんを応援しています
元衆議院議長 横路 孝弘 立憲民主党代表 枝野 幸男

勝部けんじオフィシャルWEBサイト
<https://katsube-kenji.jp/>

Facebook Twitter

比例代表は立憲民主党の候補者名またはりっけんへ

かつべ
立憲民主党公認
勝部けんじ

「すべての命に寄り添える社会」にチャレンジ!!

育児休業の男性義務化で子育て支援を拡充します

①男性も含めて一定期間の育児休業の付与を事業者に義務化します
※育児休業料を支給する場合、支給額は15,000円に増やす
※給食費は無償化し、学年費(副教材など)も補助します

児童手当を増額します

①児童手当支給額を15歳から18歳までに延長し、支給額は15,000円に増やす
※給食費は無償化し、学年費(副教材など)も補助します

給付型奨学金を拡充します

①親の収入など家庭の状況をかかわらず、安心して大学や専門学校に進むことができるよう、遅滞のない奨学金を拡充します
※大学授業料の大幅減免に取り組みます

暮らしていく年金を実現します

①低所得の年金生活者に対して、政府の年金生活者支援給付金より手厚く、最もでも15,000円を給付します
※年金との他の所得の合計額が既定年金額を超える場合

農業を継ぐられる所得補償を実現します

①飢餓安否保障の確立を目指し、絶滅的な農業者戸別所得補償制度(※)の実現を目指します。種子を復活させます
※持続的な林業、水産業、畜産業を構築します

**はらやなみ
プロフィール**

2003年 北海道札幌西高等学校(53期)卒業。

2007年 小樽商科大学経営学部卒業、カナダの野生動物保護センターでボランティア活動。

2016年 陸農学園大学獣医学部獣医学科(47期)卒業、動物病院に勤務。

2003年 北海道札幌西高等学校(53期)卒業。

2007年 小樽商科大学経営学部卒業、カナダの野生動物保護センターでボランティア活動。

みんなで投票、行きマッスル!!

7月21日
投票日

参議院議員 通常選挙

投票時間 午前7時～午後8時まで

※一部の投票所で投票時間が異なる場合があります。



7月21日は投票日です。
特に、30歳未満の青年層の投票率が低い傾向にあります。
あなたも、投票に参加しましょう。

選挙区は「候補者名」を、比例代表は「候補者名」または「政党等名」を記載して投票してください。

土・日も
投票できる

期日前投票

7/5金～7/20土 午前8時30分～午後8時まで

※詳しくは最寄りの市区町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

投票日に投票できない方は、
「期日前投票制度」を
ご利用ください。

期日前投票は次の場に行なうことができます。

- レジや買い物などの私用で、投票日に投票区内にいない方。
- 投票日に、仕事がある方、親族の冠婚葬祭がある方など。